

(様式第10号)

処理コード	
3413	01
3413	02

農業者年金被保険者資格等 **取得**・喪失 取消届出書

- ・短期被用者年金
- ・農林漁業団体役員
- ・農業法人構成員
- ・特例事業所
- ・特定被用者年金
- ・国民年金保険料免除

期間 取消届出書

私は、以下により農業者年金被保険者資格等の取得・喪失又は短期被用者年金期間等の取消しを届出ます。

提出年月日
令和 4 年 5 月 9 日

記入方法

記入方法をよくお読みになり、黒のボールペンで楷書で記入してください。

(1) 農業者年金被保険者証の記号番号	(記号)	1 2 3 4 5	(番号)	6 7 8 9 1 0 1 1 1 2		
(2) (フリガナ) 被保険者氏名	り初 初 農年 太郎					
(3) 生年月日	昭和 平成	2 3	年	5 9 1 0 0 1		
(4) 取消しする	<input checked="" type="checkbox"/> 資格取得年月日	平成 令和	3 4	年	3 1 0 4 0 1	
取消事由	(5) 被保険者資格取得取消事由	1	被保険者資格取得当時において国民年金第1号被保険者でなかった。			10
		2	被保険者資格取得当時において国民年金保険料免除期間中だった。			
		3	被保険者資格取得当時において農業に従事する者でなかった。			
		4	被保険者資格取得当時において60歳以上だった。			
		5	その他 ()			
	(6) 被保険者資格喪失取消事由	1	国民年金第2号被保険者となった(農林漁業団体役員期間に該当する法人の常勤役員となっていた場合を除く)、又は国民年金の被保険者の資格を喪失したとの申出は事実と反していた。			23
		2	農林漁業団体役員期間に該当する法人の常勤役員となったため、国民年金第2号被保険者となったとの申出は事実と反していた。			
		3	国民年金第3号被保険者となった(被扶養者となった。)との申出は事実と反していた。			
		4	国民年金保険料の納付が免除されたとの申出は事実と反していた。			
		5	農業に従事する者でなくなったとの申出は事実と反していた。			
		6	勤務している事業所が特例事業所となり、国民年金第2号被保険者となったとの申出は事実と反していた。			
		7	国民年金の任意加入被保険者ではなくなった。(60歳~65歳)			
	(7) 特例保険料資格取得取消事由	1	特例保険料資格取得時にその適用を受ける要件を満たしていなかった。			10
		2	その他 ()			
(8) 特例保険料資格喪失取消事由	1	特例保険料資格喪失日から今回の届出の日まで特例保険料適用要件を満たしていた。			a	
	2	その他 ()				
(9) 短期被用者年金期間等取消事由	1	短期被用者年金期間、農林漁業団体役員期間、農業法人構成員期間、特例事業所期間、特定被用者年金期間、国民年金保険料免除期間の申出が事実と反していた。			b	
	2	その他 ()				

※JA記入欄	★農業委員会記入・確認欄	×基金記入欄
	届出の内容は、事実と相違ないことを確認しました。 令和 4 年 5 月 13 日	
※ 受付印	★ 受付印	× 受付印
TEL - -	TEL - -	